

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月10日

上場会社名 株式会社 セレスポ

上場取引所 東

コード番号 9625 URL <http://www.cerespo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部副本部長兼経理部長 (氏名) 堀貫 貴司

TEL 03-5974-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,690	1.4	657	△15.4	669	△15.0	425	△12.3
27年3月期第3四半期	8,573	6.6	777	22.3	787	22.5	485	26.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	77.64	—
27年3月期第3四半期	88.52	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
28年3月期第3四半期	7,579		4,467		58.9	815.20
27年3月期	6,492		4,112		63.3	750.21

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 4,467百万円 27年3月期 4,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				11.00	11.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	0.4	415	8.7	415	4.4	255	0.4	46.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	5,703,500 株	27年3月期	5,703,500 株
28年3月期3Q	222,611 株	27年3月期	222,007 株
28年3月期3Q	5,481,194 株	27年3月期3Q	5,482,706 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書.....	5
第3四半期累計期間.....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項.....	6
(継続企業の前提に関する注記).....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	6
4. 補足情報.....	7
部門別売上高.....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善、インバウンド需要等により、緩やかな回復基調にあるものの、国内個人消費の伸び悩みや中国をはじめとする新興国経済の下振れリスクが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況下、当社では「中期経営計画Ⅲ」を当事業年度より開始いたしました。イベントの企画・制作・運営を含む総合的な機能を更に発展、拡大し、顧客の課題を解決するソリューションの強化に注力すると共に、効率的な組織運営の推進と利益管理の徹底により収益の安定化と基盤強化に取り組んでおります。

売上高に関しましては、総じて堅調に推移して増収となりました。

また、利益に関しましては、材料費の見直しや資材の効率的な運用により売上総利益は増加いたしました。一方、施工制作業務を中心とした外部労働力、及び運送費などの外部委託費用の増加、並びに人件費等の増加、及び新基幹システム開発に向けた費用を含む構造改革費用などの販売費及び一般管理費の増加により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに減少しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は8,690百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は657百万円(前年同期比15.4%減)、経常利益は669百万円(前年同期比15.0%減)、四半期純利益は425百万円(前年同期比12.3%減)となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。当事業年度より、各部門別の分類について事業の拡大に伴う業務の領域の変化に対応するため変更を行っており、前第3四半期累計期間の金額については変更後の部門に読み替えて、前年同期比を算定しております。主な変更点は、7ページ「4. 補足情報」をご覧ください。

#### [スポーツ部門]

日本陸上選手権大会、世界トライアスロンシリーズ横浜大会の継続受注に加え、紀の国わかやま国体・大会や各自治体のマラソン大会等のスポーツイベントの受注増加により、売上高は2,312百万円と前年同期比14.0%の増収となりました。

#### [セレモニー部門]

行幸啓行事や地鎮祭・竣工式等の受注減少により、売上高は2,058百万円と前年同期比18.3%の減収となりました。

#### [フェスティバル部門]

市民祭等の地域振興イベント等の受注増加により、売上高は1,891百万円と前年同期比5.7%の増収となりました。

#### [プロモーション部門]

プロモーションイベント・販売促進イベント等の受注減少により、売上高は1,498百万円と前年同期比2.6%の減収となりました。

〔コンベンション部門〕

自治体主催のシンポジウム等の受注増加により、売上高は611百万円と前年同期比34.0%の増収となりました。

〔その他事業部門〕

統一地方選挙等の選挙関連に加え、指定管理者業務の参入により受注が増加し、売上高は317百万円と前年同期比31.9%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は前事業年度末に比べて1,087百万円増加し、7,579百万円となりました。これは主に現金及び預金が471百万円増加し、受取手形及び売掛金が693百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比べて731百万円増加し、3,111百万円となりました。これは主に買掛金が243百万円減少したものの、借入金が1,101百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて355百万円増加し、4,467百万円となりました。これは主に利益剰余金が365百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績が概ね計画通りに進捗しているため、平成27年5月13日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	668,921	1,140,031
受取手形及び売掛金	1,320,166	2,014,071
原材料及び貯蔵品	27,455	22,063
未成請負契約支出金	77,477	65,265
その他	131,404	91,690
貸倒引当金	△18,973	△28,574
流動資産合計	2,206,451	3,304,549
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	365,010	350,018
土地	3,310,250	3,310,250
その他(純額)	90,686	87,967
有形固定資産合計	3,765,947	3,748,236
無形固定資産	31,197	33,367
投資その他の資産		
その他	575,922	586,670
貸倒引当金	△87,162	△93,170
投資その他の資産合計	488,759	493,499
固定資産合計	4,285,904	4,275,103
資産合計	6,492,355	7,579,652
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	557,922	314,253
短期借入金	400,000	1,700,000
未払法人税等	87,211	160,398
賞与引当金	136,890	44,263
1年内返済予定の長期借入金	227,430	115,188
その他	600,698	477,596
流動負債合計	2,010,153	2,811,700
固定負債		
長期借入金	162,732	76,341
退職給付引当金	76,047	76,747
役員退職慰労引当金	64,762	75,395
資産除去債務	44,938	39,693
その他	21,466	31,778
固定負債合計	369,947	299,955
負債合計	2,380,100	3,111,655
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,370,675	1,370,675
資本剰余金	2,155,397	2,155,397
利益剰余金	650,880	1,016,143
自己株式	△63,195	△63,455
株主資本合計	4,113,757	4,478,760
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,501	△10,763
評価・換算差額等合計	△1,501	△10,763
純資産合計	4,112,255	4,467,997
負債純資産合計	6,492,355	7,579,652

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	8,573,245	8,690,453
売上原価	5,881,368	5,952,329
売上総利益	2,691,876	2,738,123
販売費及び一般管理費	1,913,913	2,080,214
営業利益	777,962	657,909
営業外収益		
受取配当金	12,082	11,997
その他	7,147	4,882
営業外収益合計	19,229	16,880
営業外費用		
支払利息	7,884	4,192
貸倒引当金繰入額	1,784	1,050
営業外費用合計	9,668	5,242
経常利益	787,523	669,547
特別利益		
投資有価証券売却益	—	998
固定資産売却益	—	429
特別利益合計	—	1,428
特別損失		
投資有価証券売却損	4,845	—
固定資産除却損	413	19
特別損失合計	5,258	19
税引前四半期純利益	782,265	670,956
法人税、住民税及び事業税	260,948	221,444
法人税等調整額	35,963	23,952
法人税等合計	296,912	245,396
四半期純利益	485,353	425,559

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



## 4. 補足情報

## 部門別売上高

当社の事業は、イベント総合請負業並びにこれらの関連業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんが、部門別の売上高は次のとおりです。

当事業年度より、部門別売上の分類の変更を行っております。

主な変更点は次の通りです。

- ・従来、レクリエーションに含まれていた「運動会」をスポーツ部門、「納涼祭」等のレクリエーション全般をフェスティバル部門へそれぞれ変更いたしました。
- ・従来、建設式典関連のみをセレモニー部門と分類しておりましたが、コンベンション部門に含まれていた各種式典関連をセレモニー部門へ変更いたしました。
- ・従来、資材のレンタル等を分類していた「その他」をその他事業部門と変更し、防災訓練や選挙関連の業務と新たに指定管理者事業を追加いたしました。

なお、前第3四半期累計期間の金額は変更後の部門に読み替えております。

(単位：千円、%)

部 門	主要内容	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前年 同期比
		金 額	金 額	
スポーツ	国体・陸上競技・運動会	2,028,787	2,312,477	114.0
セレモニー	建設式典・記念式典	2,519,791	2,058,389	81.7
フェスティバル	市民祭・商工祭・学園祭	1,789,437	1,891,615	105.7
プロモーション	展示会・見本市・発表会	1,538,302	1,498,964	97.4
コンベンション	会議・集会・シンポジウム	455,940	611,182	134.0
その他事業	防災訓練・選挙・指定管理者事業	240,987	317,823	131.9
合 計	—	8,573,245	8,690,453	101.4

- (注) 1. 上記金額には消費税は含まれておりません。  
2. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。